

指定管理施設の管理運営状況にかかる評価表

【 令和6年度分 】

施設名	平田本陣記念館	施設所管課	文化スポーツ課
指定管理者	公益財団法人出雲市芸術文化振興財団	指定管理期間	令和3年04月01日 から 令和8年03月31日 まで

1. 総合評価

市	【優れていると評価した点】 施設の管理状況について、清掃業務、各種点検業務など、適正に管理され、また、適切な人員配置がなされている。本館・展示館及び茶室などそれぞれの特色を活かし、作品展や研修会、前撮り写真撮影等に広く利用されている。サブカルチャーを取り上げるなどオルタナティブな視点からの企画展示には定評があり、施設の評価を高めている。
	【改善すべき点】 様々な催し物に使用していただくために丁寧な接客に努めるとともに、美しい出雲流庭園をガラス越しに一望できる施設の利点の活用した施設利用方法の創意工夫を図られたい。また、貸館事業の強化による料金収入の増にも努めていただきたい。
指定管理者	【優れていると評価した点】 親切・丁寧な対応はもとより来場者の立場に立ち、リピーターの確保並びに新規利用者の開拓などに努めた。また、利用者の要望等の把握については、利用者アンケートを展示に併せ設置し、意見、要望等があれば職員が共有化し利用促進の向上を図った。今後も、SNSで情報発信し利用促進に努めていく。施設、設備の老朽化が著しく、今後維持管理経費が増加傾向にある中、不具合が生じた場合は、ただちに委託業者に連絡をとり、応急措置はもとより早期復旧に努めた。当館を親しんでいただくため、施設の利用方法について創意工夫を図っていく。
	【改善すべき点】 特になし

2. 施設利用について

総括	令和6年度における利用状況は、利用回数については、90回で令和5年度と比べ、6回、6.3%の減で、利用者数は3,200人で令和5年度比261人、7.5%の減となったが、利用料金収入は、410千円で令和5年度比90千円、28.2%の増となった。
----	---

(1) 収支状況の推移（自主事業を含む）

（単位：千円）

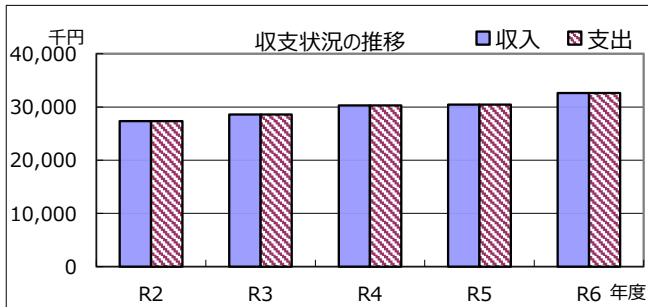
施設	項目	R2	R3	R4	R5	R6
収支	収入	27,333	28,586	30,282	30,443	32,623
	うち指定管理料	26,729	28,380	28,628	27,131	29,176
	うち利用料	55	163	239	320	410
	その他	549	43	1,415	2,992	3,037
	支出	27,330	28,581	30,283	30,443	32,623
	差引	3	5	△ 1	0	0

<上記以外の市の収入、支出>

（単位：千円）

市の収支	項目	R2	R3	R4	R5	R6
収入	収入（使用料）	0	0	0	0	0
	支出	1,087	286	2,510	956	2,086
	うち修繕費	176	0	1,837	0	1,782

※大規模修繕を除く



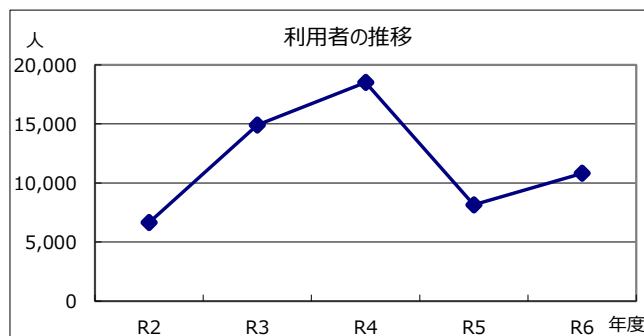
収入増・コスト削減に関する取組

利用料が増収傾向にある。
物販の販売方法や配置に工夫を凝らし、販売促進に努めた。

(2) 利用者の推移

(単位：人)

利用者	R2	R3	R4	R5	R6
	6,654	14,911	18,514	8,155	10,824



利用者の増に向けた取組・利用の動向

展示事業観覧者数及び貸館事業入館者数の総数は、10,824人で令和5年度と比べて2,669人の増であった。6月22～9月1日に開催した「HIRATA CRAFT MUSEUM」が大好評で、入館者数が飛躍的に増加した。

総入館者数：令和6年度10,824人、令和5年度8,155人、令和4年度12,991人、令和3年度9,830人

(3) 利用者アンケート

アンケートの実施状況

利用者アンケートを展示に併せ設置し、意見、要望等があれば職員が共有化し利用促進の向上を図った。

回答数	職員の対応・マナー・説明、施設管理・サービス	主な意見（問題点）・対応（効果）
395 件	①非常に良い	185 件 46.8 %
	②良い	193 件 48.9 %
	③ふつう	16 件 4.1 %
	④悪い	1 件 0.3 %
	⑤非常に悪い	0 件 0.0 %
		【意見】消しゴムハンコの展示がしてほしい。他館の取り上げは無いような、ニッチなものも観たいです。 【対応】今後の展示内容についてご意見を参考にして検討する。 【意見】トイレがどこにあるかわからない。 【対応】導線の表示方法を工夫することを検討した。

(4) 住民サービス向上の取組・事例

来館者の意見やニーズを把握して事業に反映するため、アンケートへの協力を積極的に促した。また、ポスター・チラシ・HP・フェイスブック・X（旧ツイッター）による施設紹介の拡大を図り、展覧会や展示作品の解説のほか、館内の四季の移り変わりを紹介するなど、施設や事業の魅力の発信に努めた。

3. 自主事業について

総括	伝統文化の継承・普及につながるものに留まらず、様々な年齢層にアピールするコンテンツを継続的に企画し、他館では見られないユニークな講座・教室を開催していることは高く評価できる。
実施状況	児童を対象とした「こども書道教室」、一般の方を対象とした「日本刀初心者講座」、特定非営利活動法人サポートセンターどりーむとの共催による障がい者の絵画・アート作品展、川瀬一絵写真展「へんなお茶会」を開催したほか、地域のみなさまに当館を親しんでいただき、また、展示館への誘客を促進することを目的として、地元の方や県内で活動している団体等の作品等を発表する「ミニギャラリー」を企画・実施した。

4. 施設の維持管理・安全対策について

故障や不具合等が生じたとき、ただちに業者に連絡し、緊急対応に努めた。

職員が巡視し危険箇所、建物等の異常の有無を確認し、必要に応じて業者に連絡した。

平田消防署及び防火設備管理業者立ち会いのもと、真剣で機敏に訓練を実施した。

5. 職員（従業員等）の接遇・研修について

来館者に親切で、丁寧な接客に努めた。要望があれば積極的に館内の説明を行った。